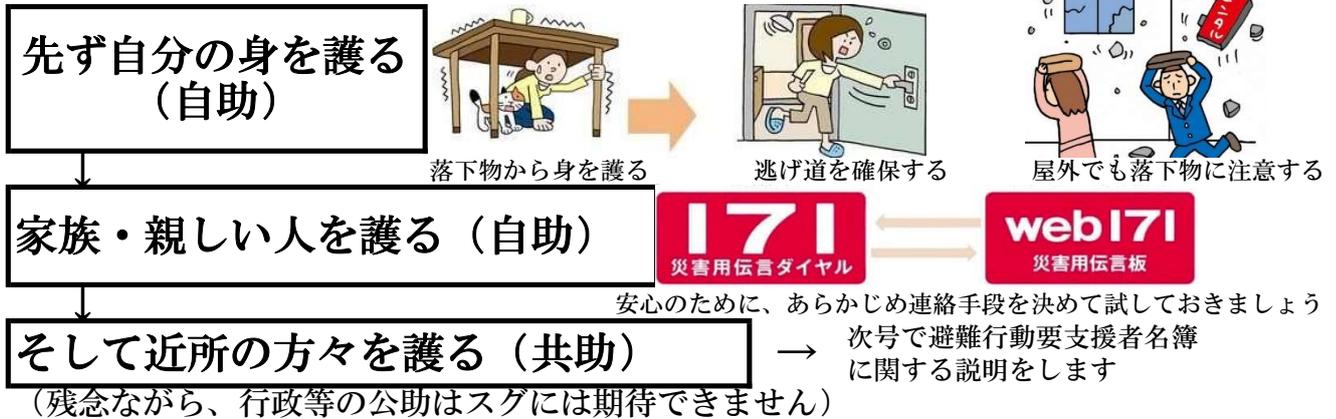


【10回に1回しか本気の大災害はやってこない】

大きな地震が襲っても実際に大きな被害が出るのは10回に1回、耐震補強を怠っても10回で1回しかないキラールズ（前号参照）による建物倒壊は起こらない。地震災害想定、10回中9回が「狼少年」だったと言われてきたのがトルコでの実情です。日本同様地震の多いトルコですが、死者が1万人越えたのは直近では1999年と1939年です。その間に1万人以下の死者を出した中～小規模地震は、10回前後起きています。無理・過剰な備えは無駄遣いですが、できる範囲で「備え」を心がけましょう。

【防災の目標は何か】

命を護る（まもる）



【どうすれば命を護れるのか】

事前準備 と 情報収集

事前準備：地域の災害特性、各自で自助・町会で共助の実施

情報収集：自力で、家族間で、隣近所・友人間で

公助の限界や優先順位付けを想定し

自助・共助で初期避難を乗り切る準備をしていきましょう

「防災」は選挙の票にならない、と今まで云われてきましたが、2022年ころから政党のマニフェストに「防災」に関する記載がでてきたのは、進歩だと思います。

奇しくも、3月3日の夜から3回にわたりNHKで「NHKスペシャル 南海トラフ巨大地震」というドラマ×ドキュメンタリーが放映されました。再放送もされています。その中で、「気象庁」や「政府」の無責任さが垣間見られます。空振り予報のバッシング、経済再生を優先する姿勢、などからの無責任な姿勢があり得ます。被災の当事者同士、共助で生き抜く「事前準備」と「実際の行動」をとっていきたいと思います。

出典 松本市危機防災課「高めよ防災力」

NHKスペシャル「南海トラフ巨大地震」

動画



松本市各地区からのお知らせ 松原防災通信バックナンバー

